



兵庫県立大学 生涯学習公開講座ダイジェスト

平成 29 年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

【からだのふしぎ体験】

日 程： 平成 29 年 8 月 3 日（木） 14 時～16 時

受講者数： 5 歳～11 歳までのこども 24 名

会 場： 兵庫県立大学明石看護キャンパス（実習室 A）

講 師： 勝田仁美（小児看護学）、山口亜希子（看護病態学）、片岡千明（成人看護学）

○テーマ・概要

- 「講義」 ・からだのしくみをみてみよう
- 「体験・実験」 ・「しんぞう」や「こきゅう」の音をきいてみよう！
- ・「てあらい」の実験をやってみよう！
- ・「くしゃみ」の実験をやってみよう！

○内 容

私たちの体のしくみはどうなっているのか、子どもたちにもわかるように、模型などを使いながらからだのしくみを説明したあと、3グループに分かれて、体験や実験を行いました。

体験では、実際に聴診器を使い、自分と親の「しんぞう」や「こきゅう」の音をきいてもらいました。子どもたちは、大人と子どもではしんぞうの回数が違っているなど多くの発見をしていました。また、「てあらい」の実験では、蛍光塗料を手に塗り手あらいをしてみても洗い残しがないか、どんなところに洗い残しがあるのか、専用の機器を使って確認しました。その後に正しい手あらい方法を一緒に練習すると、一生懸命練習して、家に帰ってもやってみたいと話す子どもも多くいました。また、「くしゃみ」はどこまでとぶのかやってみようという実験を行いました。前だけでなく左右にも飛び散っている様子を視覚的に確認できたことで、とても驚きながら、くしゃみを飛び散らせない方法について学びました。

今回の公開講座では、学びや発見を記録できるように、講義内容と実験結果の記録用紙を含む「からだノート」を作成し実施しました。参加した子どもたちは熱心に実験結果を記録していました。

